

極細紙バンドの「割れ」補修ヒント

極細紙バンドは「光沢」を優先する一方で糸の接着力を犠牲にしています。つまり「光沢>接着」です。接着力を増そうとすると折角の「光沢」が減り、紙バンド作品の魅力が落ちるのです。しかし「割れ」について何とか出来ないか？とメーカーさんと打ち合わせ会議をしている時、メーカーさんから教えて貰ったのが「トップコート」を利用した簡単きれいな補修でした。試しに「割れ」箇所にトップコートを塗って見た所、見事に補修されたのです。



その後、暫くするとトップコートは乾燥し、匂いも消えるので、極細紙バンドをお使いの時「割れ」が有りましたら、トップコートで補修して見て下さい。

【トップコート「割れ」補修塗り方例】

1. 「割れ」部分にトップコートを**薄め**に塗り極細紙バンドをピンと張るように糸の並びを整えます。
2. 親指と人差し指ではさんで糸どうしが付くように**軽く**しごきます。
3. 塗る時は指ではなく、**付随の筆**を使うときれいに修復できます。
4. トップコートをたっぷり付けすぎると白濁したりした極細紙バンド本来の美しさを損ないますので御注意下さい。